

# 忘れられた乳幼児の

## 環境教育について

和泉乳幼児院 砥 上 種 樹

(一) 特に乳幼児の環境教育の重大であることは、誰も否定するものはないが、その体験においては、科学性が乏しく、しかも環境設定において、最も大切な人的環境の中でも保育者自体と、その保育者群の生活雰囲気をよくすることが忘れられている。

(二) 更に、物的、事件的、大自然などの環境設定に努力していても、児童の本能を敬い、それが環境にありて行動するそのものを教育的素材とすることを忘れている。換言すればカリキュラムを立てる時は、ともかく、出来上った案に捉われがちである。

(三) 乳幼児は、本能の躍動のまま無意識的、未分化的に、環境にまねまなびつつ成熟していくのである。たとえば、環境という畑に本性の種が芽生えて、本能という自力が、その他の環境のさまざまなに順応したり抵抗したりして成長するのを園丁が、それを敏く保護育成するようなものである。

(四) 保育者は一に環境の最大なものであると共に園丁の如く、対象を咎めず叱らず、あるいは春の陽の如く温かく輝いて語らず、うるみ眺めると共に、児童の本能のよき芽を助成し、然らざるを洗い清

めてやることでなければならない。

それには、児童と一つ心にとけ合って生活を共にし、決して対立的で、強要し、叱責したりして馴けてはならない。

(四) 乳児のころの本能感には、十分満してやらねばならない。ただ、基本的な、飲食、睡眠、排泄、保温、清潔などは科学的に馴けるが、それにしても無理はいけない。これが幼児になって、必然的に現実感と衝突する。それは、自我の芽生え、心の離乳期とも云うべき過程である。この反抗期の教育も、何といってもよき人的環境の中にあらしめることを忘れてならない。

(四) 要するに環境設定と本能尊重によって、心のしこりを昇華し、創作能力を助成しつつ人格の土台を形成することを祈念すべきである。

## 職業と幼児期の 環境について

厚生省

副島 ハ マ

四、五〇〇枚のアンケートを無作意抽出による調査の回答六八九をまとめたもので、結果と考察の要約は左の通りであった。

幼教（幼稚園教諭）保育（保育所保育）の職業選択理由は自分の意志によるもの五九%で全体の平均四五%より多く、現在の職業に

満足しているものは九〇%で公務員四五%全体の平均七二%より多い。

自分自身が自分の職業と両親の職業は関係があると思う人は一九%に過ぎないが、会社員の両親は会社員が、幼教・保母の両親は教員が一番多い。

幼稚園に行った人は全体の平均三五%、公務員四二%会社員四〇%に対して幼教・保母二八%であるのは、家庭の経済生活のあらわれかとも思えるが、幼稚園に行った人たちの中で幼稚園の先生の印象が残っているものは全体の平均七八%に対し、幼教・保母は九八%で圧倒的であったのはこの道に入るのに影響があったと同時に、現在の仕事の関係で先生の印象を新たに甦らせたとも云えよう。子どもが好きか嫌いかの欄では大好き・好きが全体の平均七二%に対し、幼教・保母は八七%公務員五二%、普通は全体の平均二四%に対し幼教・保母一三%公務員三一%、嫌いは全体の平均二%に対し幼教・保母は〇、公務員は二五%と桁ちがいであるのは対照的であった。

人生の中で一番貴いものは社会愛・宗教的価値と回答したものの幼教・保母七四%、公務員三九%、誰のために人生を送っているかという欄で不幸な人の為・社会の子どもの為と回答したものの幼教・保母は五六%、公務員一五%で、職種により、こうも人生観が違うかと驚きを感じ、職業の選択は青年期だけでなく、幼児期の親の職業や保育施設職員の印象なども、多少でも影響があることを知った。

\*

\*

\*

## 幼年期の言語指導について

安田女子短期大学付属幼稚園 樋口貞代  
安田学園 安田小学校 住田信代

小学校は毎年多くの児童を幼稚園、保育所または家庭から迎えるのであるがその新入児童はどのような実態を持っているのか、それを見極めることはその後の指導に必要なことである。

また、幼稚園や保育所としても、どの程度に文学とか数とかを扱っておけばよいのか、ということ而就学前幼児の実態から考えてみることも大切である。今回は、その一面の国語能力の面からみた実態について主として小学校の立場から発表したわけである。

実態調査については、阪本一郎氏の国語レイニスの診断テストを使用した。本稿にてはその中の二点について記すことにする。

第一は、「最近三カ年の就学児童のレイニスの実態とその傾向について」

第二は、「幼稚園や保育所を経過したものと、そうでないものと」のレイニスのある熟度の比較」である。(図表省略)

国語能力を伸ばすものは何と言っても、豊かな生活経験と語いである。試みに、施設通児と不通児の読書レイニスを比較して